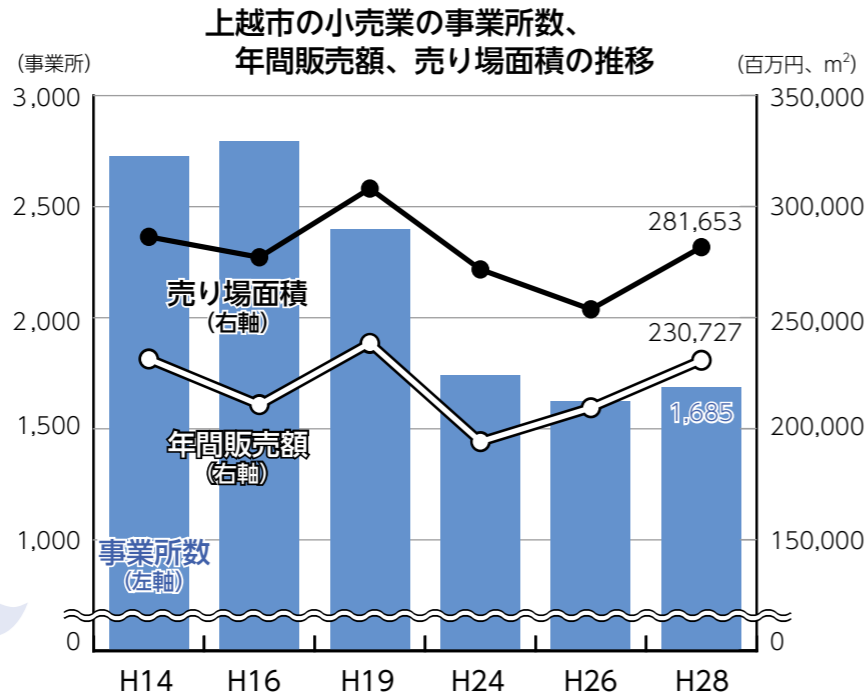


## ご存じでしたか？近年の商業環境は変化しています

### 過去20年の推移を 見てみると...

事業所数は減少していますが、年間販売額や売り場面積はほぼ横ばい。消費の中心が、小さなお店から大型店に移っていることが推測されます。

身近なお店を取り巻く環境は、コロナ禍以前から厳しい状況にあることが伺えます。



出典：商業統計、経済センサス

## 身近なお店はどうして重要なのか？



### 皆さんの近くにもある「身近なお店」、 大事にしませんか

「私には関係ない」と思っていませんか。市内の数多くの小規模事業者が減っていくということは、上に挙げた5つの大切な機能が損なわれていくことを意味します。つまり、巡り巡って、私たちの未来にも関わってくることなんです。

市では、こうした課題の解決に向けて、平成30年に「上越市中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定し、地域全体で考え、取り組んでいます。

身近なお店の良いところは、「顔が見える関係」として安心してお願いできること。コロナ禍で、周りとの疎遠になりがちな今だからこそ、信頼できるあなたの「かかりつけのお店」、探しませんか。

### 市では各種支援に 取り組んでいます

- 第2次 中小企業者等  
イノベーション推進補助金  
…新たな成長に歩み出す事業者を応援します。
- 上越市物価高騰支援金  
…原油価格や物価の高騰に悩む事業者を支援します。

上記以外の支援策は市ホームページをご覧ください▶



## 特集 | いま大切にしたい「ご近所力」！

# 見直しませんか、「身近なお店」



■問合せ … 産業政策課 (☎025-520-5734)

人口減少や少子高齢化、単身世帯の増加などは、社会やライフスタイルの変化だけでなく、企業の後継者不足や消費支出の減少など、当市の地域経済にも大きな影響を及ぼしています。広報上越ではこれまで、「事業承継」(令和3年8月号)や、「地元を愛そう」(本年5月号)と題し、こうした話題を紹介してきました。

今号では、地域に密着した事業を営む「身近なお店」を取り上げます。皆さんのお住まいの近くにもある、頑張るお店について考えてみませんか。

近年のコロナ禍や物価の高騰などの外的要因に加え、経営者の高齢化や後継者・従業員不足もあり、市内企業の大部分を占める中小企業や小規模事業者を取り巻く経営環境は、厳しさを増している状況です。

そのような中でも、事業者の皆さんは本当に一生懸命頑張っていると思います。ある事業者様からは、経営が厳しくても「お客様からの『ありがとう。助かるよ』の感謝の言葉が何よりも励みになるし、頑張ろうという原動力になる」との声も聞かれます。

地域の経済やつながりの面でも、小規模事業者は欠かせない存在です。市民の皆さんからも、ぜひご近所のお店を積極的にご利用いただきたいですね。



上越信用金庫 総合企画部 副部長  
(経営企画・地域活性化支援担当)

山本 一実 さん

市内の小規模事業者の  
状況をお聞きしました

